

2. 評価結果（詳細）

主任調査員 石松成子 / 同行調査員 中村朋美

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域住民と共に」の精神で「その人らしく生きることを支援します」とあり、地域の中で安心した暮らしを支えるため、地域密着型サービスとしての役割を目指した理念である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念に基づいて、年度の目標を決め、毎月の全体会議のとき理念や目標について話し合い、毎日のケアに反映するよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人主催の夏祭りを地域住民へ呼びかけ共に盛り上げている。小、中学生との交流や高校生をボランティアとして受け入れている。市主催の文化祭に入居者の手作り作品を出展するなど、地域の一員として交流を深め、活動している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価のねらいや意義を職員に説明し、全職員で自己評価に取り組み、サービスの質の確保に活かそうと努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者の状況やホームの取り組みなどについての報告や、話し合いを行い、意見をもらったり、理解を深めてもらうよう取り組み、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

グループホームゆめ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者には日頃からホームの実情を報告し、必要な場合は相談や意見交換を行って、運営推進会議への参加も呼びかけ、積極的に連携づくりに勤めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に入居者の暮らし振りや様子を報告している。ホーム便りを季節ごとに発行し、行事の様子や職員の紹介などわかりやすく報告している。金銭出納帳は面会時に確認してサインを受けている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に相談苦情の窓口を明示して、入居時に説明を行っている。敬老会の日には家族会も開催し、家族の意見を聞く機会を設け、その意見をサービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	施設長や管理者は職員の異動による入居者への影響について理解しており、異動はしていない。新採用時も併設の施設や病院からホームに適した職員を配置したり、ベテラン職員と勤務を組むなどして、入居者が不安にならないよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修が充実しており、毎年研究発表に取り組んで、職員の質向上に取り組んでいる。外部の研修も積極的に参加を勧め、研修後の報告書も作成し、他の職員とも共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入しており、研修会に参加し、同業者と交流する機会を持っている。全国大会へも積極的に参加し、相互に情報交換を行い、サービスの質向上に取り組んでいる。		

グループホームゆめ

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があった場合、本人・家族にホームの見学してもらっている。家族や関係者から入居者の生活歴などの聞き取りや自宅への訪問など実施し、馴染みの関係をつくり、安心感も持って過ごしてもらうよう家族と共に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、得意料理や、昔の暮らしの様子や思い出話など教えてもらったりしている。一緒に過ごし、学び、支えあう関係を大切にしたい支援をしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人や家族から希望や意向を聞きとり、暮らしの中で職員が気づいた事や支援経過を申し送りノートに記録し、把握に努め、その人らしい暮らしを支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族や関係者から意向や希望を聞き、記録や職員の意見等を参考に計画書を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	更新時に計画を見直しているが、3ヶ月ごとに評価を実施し必要な時は、計画の見直しを行っている。本人・家族の希望や状態変化があった場合は随時見直している。		

グループホームゆめ


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	家族と話し合い、必要な場 合は通院介助や理容院の送迎 などを支援している。併設施 設での個別によるリハビリな ど柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られたかかり つけ医と事業所の関係を築き ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	本人・家族の希望により協力 病院がかかりつけ医のため、 定期的な受診や、健康診断等 適切な医療が受けられるよう 支援している。協力病院の訪 問看護もあり入居者は安心 している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	医療連携体制について指針を 明示し、入居時に説明を行い 同意書をもらっている。協力 病院の訪問看護を利用し入 居者、家族が安心して暮らし 続けられるよう支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシー を損ねるような言葉かけや 対応、記録等の個人情報の取 り扱いをしていない	施設長、管理者は入居者の プライバシーの確保の重要性 に留意し、職員に対しても、 言葉掛けや対応など具体的 に指導して、事業所全体で 取り組んでいる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先 するのではなく、一人ひとりの ペースを大切にし、その日を どのように過ごしたいか、希 望にそって支援している	入居者の健康状態や、その日 の気分を大切に、起床時間 や朝食・入浴など入居者一人 ひとりのペースで柔軟に対 応している。		

グループホームゆめ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望を聞いて献立を決め、完食を目標に調理も工夫している。買い物にも同行したり、調理の手伝いをもらったりして。配膳や下膳などできる事はして貰って、会話をしながら楽しく食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	天然の温泉を導入した浴槽で、リラックスして入浴できるようになっている。入浴日を決めてはいるが、希望があればいつでも入浴できる。入浴拒否の方は体調に配慮しながら、時間を置いてから勧めている。時には、近くの足湯にも出かけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴など把握し、掃除や、調理の手伝いなど役割を持ってもらっている。ボランティアの講師による生け花など習い事をしている。週2, 3回の関連施設でのリハビリを楽しみにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の買い物への同行や夕方の散歩の他、近くの神社への参拝や季節の花見・ソーメン流し等々、外出の機会を設けている。お盆や正月など家族に自宅への外出や外泊などを勧めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設長・管理者及び職員は施錠の弊害について理解しており、鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署と協力し、避難誘導訓練を実施している。台風前など食料や備品など準備している。日ごろより入居者が外出した時など、地域の人に声をかけてもらう等、協力関係作りをしている。		

グループホームゆめ

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節の野菜や入居者の好みのもを調理し完食を目標にしている。毎日、食事摂取量及び水分摂取量をチェックし、定期的に体重も量り、栄養バランスに配慮している。協力病院の管理栄養士にメニューについてアドバイスをもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ワンフロアになった台所とホール・畳コーナーを囲むように居室がある。見晴らしもよく、天窓でホールは明るく、居室や脱衣所などの窓も工夫され、風通しもよく居心地よく過ごせている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	衣装ケースや洋服掛けなどのほか、手作り作品や家族の写真・鉢植えなど置いて、居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。